

イミダクロプリド・エチプロール水和剤 アドマイヤープラスフロアブル	取扱メーカー： クミカ、バイエル 原体メーカー： バイエル、バイエル
成分： イミダクロプリド〔ネオニコチノイド系〕………9.1% エチプロール〔フェニルピラゾール系 PRTR・2種〕…9.1%	性状： 類白色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 劇物 消防法： ——

【品目特性】

- 作用性の異なる殺虫成分の混合剤で、従来の薬剤に感受性が低下したチャノキイロアザミウマに優れた効果を示す。
- 幅広い殺虫スペクトラムを有する。
- カンキツの重要害虫であるゴマダラカミキリにも有効。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 6～7月の散布により、チャノキイロアザミウマとゴマダラカミキリとの同時防除が可能。
- 8～9月の散布により、チャノキイロアザミウマとカメムシ類との同時防除が可能。

【薬効・薬害等の注意】

- 共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】

- 無人航空機散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。
- 無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守る。
 - 散布は散布機種の散布基準に従って実施する。
 - 散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用する。
 - 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行う。
- 共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。



【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミダクロプロドを含 む農薬の総使用回数	エチプロールを含 む農薬の総使用回数
かんきつ	コナカイガラムシ類	2000 倍	200～ 700 ℓ	収穫 21 日 前まで	2 回 以内	散布	3 回以内	2 回以内
	アザミウマ類	32 倍	4～ 7.5 ℓ			無人航空 機による 散布		
	アブラムシ類	40～50 倍	7.5～ 15 ℓ					
	カメムシ類		15～ 30 ℓ					
	ゴマダラカミキリ成虫		30～ 50 ℓ					
	ミカンバエ成虫		100 倍					
ミカンハモグリガ	200 倍							